

ギャラリーツアー

展示会の背景やそれぞれの作品について、
フォーラム担当者が解説いたします。

【参加方法】
予約不要

※開始 5 分前までに、9 階の会場スタッフに
ツアーご参加の旨お知らせください。

※会期中、不定期に開催予定です。

4 月 30 日（水） 15:00 ～／ 18:00 ～
5 月 2 日（金） 15:00 ～／ 18:00 ～

- 各回：約 45 分
- 言語：日本語
- 集合場所：銀座メゾンエルメス 9F フォーラム

★春休み特別ギャラリーツアー（中学生・高校生向け） ※終了しました。
休館日に特別に開館し、参加者のみなさんだけで展示会を楽しむギャラリーツアーです。
対象は、小学校を卒業した 12 歳から 19 歳です（対象外のかたも 1 名までご同伴で参加いただけます）。

- 日時： 4/2（水） ① 14:00-15:00 ② 17:00-18:00
- 対象： 小学校を卒業した 12 歳から 19 歳（ただし、対象外のかた 1 名までご同伴可）
- 言語： 日本語
- 定員： 各回 20 名（事前予約制・先着順）

関連イベント スペクトラムとスペクトラムの〈あいだ〉

展示会を一つの小説とするならば、そこは現実と虚の〈あいだ〉にとどまることのできるしばしの居場所。そこで生まれる作品同士の、あるいは鑑賞者とアーティストの密やかなナラティブは、互いの「スペクトラム」となって、反射、逆転、反復、持続、幻想といった〈あいだ〉を拡張してゆきます。それぞれのアーティストにとっての「スペクトラム」や「スペクトラムとスペクトラム」の〈あいだ〉では、どんな像や語りが結ばれるのでしょうか。様々なバリエーションをお楽しみください。

【参加方法】オンラインよりお申込みください。

イベントによって予約開始日と予約リンクが異なります。
ご注意ください。

① 4 月 25 日（金） 10:00 ▶予約はこちら
A-1 「アーティストとアーティストの〈あいだ〉」のみ

② 5 月 9 日（金） 10:00 ▶予約はこちら
A-2 「日常：路上と室内の〈あいだ〉」
B 「「器」の余白：ヨハネス・ナーゲルによるレクチャー」
C 「津田道子によるラン・イベント「and run 橋と橋と銀座と」

※関連イベントにはおひとり様、いずれか 1 つのお申込みでお願い致します。
※お電話でのご予約は承っておりません。ご了承ください。
※いずれも参加費は無料です。
※イベントの所要時間は変更となる可能性がございます。
予約開始時の情報をご確認ください。

A
日常の〈あいだ〉、アーティストの〈あいだ〉：
題府基之とゲストによる対談イベント

路上の電柱を捉え、色のニュアンスに独特な遊びのある題府基之さんの作品《Untitled(Pee)》は、東京の街の残像を会場に映し出します。題府さんは「行きと帰りで風景がちがうみたい、ささいな違い。日常の出来事を日常的に見直す」ところから作品のコンセプトを探ると言います。反復する日常や特別な瞬間など、誰でも写真を簡単に撮ったり、オンラインなどで共有したりする現代社会で、写真を作品として見る／見せるとはどういうことなのでしょうか。また、アーティストたちの結びつきや 2 組の対談を通して考えていきます。

A-1 アーティストとアーティストの〈あいだ〉

題府さんは、自らの写真集をつくるだけでなく、自分以外のアーティストをキュレーションしたビジュアルブックの制作や監修も行っています。ビジュアルブック『Section Vol.1』の創刊号では、アーティスト・ラン・スペース「4649」の共同ディレクターである高見澤ゆうさん・小林優平さん・清水将吾さんとコラボレーションしました。「4649」の 3 人は、それぞれアーティストでもあります。アーティスト・ラン・スペースという空間で、作品を見せること、それぞれの日常と作品の〈あいだ〉、アーティスト同士のコラボレーションについてのお話を伺います。

- 登壇者：4649（Jeans Huang、高見澤ゆう、小林優平）、題府基之
- 日時:5/14(水)18:00～19:10（約 70 分） *休館日の開催となります。17:30 開場。
- 定員：40 名（要事前予約、先着順）
- 会場：銀座メゾンエルメス 8F フォーラム

A-2 日常：路上と室内の〈あいだ〉

写真における「日常」は、路上や室内といった場所を舞台にどのように撮影されてきたのでしょうか。写真集や専門雑誌の編集者として写真の動向に長年関わってこられた澤田陽子さんをゲストに迎え、題府さんの写真にみる日常の表現の特徴や系譜について、また写真にとっての写真集という居場所についてもお話を伺います。

- 登壇者：澤田陽子（写真集出版社オシリス代表）、題府基之（アーティスト）
- 日時：6/14（土） 15:00 ～ 16:30（約 70 分）
- 定員：40 名（要事前予約、先着順）
- 会場：銀座メゾンエルメス 10F ル・ステュディオ

B
「器」の余白：ヨハネス・ナーゲルによるレクチャー

出展作家のひとりであるヨハネス・ナーゲルが来日します。日本の陶芸に影響を受けるナーゲルですが、その作品が日本で紹介されるのは初めての機会になります。本イベントでは、伝統的・古典的な「器」のあり方を絶えず解体し続けることで表現の幅を広げてきたナーゲル独自の技法や制作姿勢についてのレクチャー形式のセッションになります。器のネガティブ・スペース（虚の空間）をテーマに、ナーゲルの「器」の実践について考えていきましょう。

- 日時：5 月 31 日（土） 17:30 ～ 18:40（約 70 分）
- 登壇者：ヨハネス・ナーゲル ※日英通訳付き
- 定員：40 名（要事前予約、先着順）
- 会場：銀座メゾンエルメス 10F ル・ステュディオ

C
都市へと拡張する：津田道子によるラン・イベント「and run 橋と橋と銀座と」

津田道子さんは「いろんな土地にリサーチや展示会で行ったとき、朝、走ってみる。そうすることで、地形、水の気配、街の規模感や、掃除する人など、日中に歩いてみるのとは違った風景を見ることができる」と言います。フォーラムのある銀座周辺をリサーチして津田さんが設定したオリジナルのルートを実践しながら、この土地にかつてあった水脈や歴史、時間帯による街のイメージの違いなどを身体で捉え、身体と場所、イメージの〈あいだ〉を探ってみましょう。
（企画協力：上田陽子（and run 実行委員会メンバー、金沢アートグミ理事））

- 日時：
6 月 1 日（日） 19:00-21:00（約 2km、軽めコース〔初心者向け〕）
6 月 2 日（月） 8:00-11:00（約 10km、しっかりコース〔経験者向け/1 キロ約 8 分ペース〕）
- 定員：各回 10 名（要事前予約、先着順）
- ※お申し込み後、参加同意書のご提出をお願い致します。
- 集合場所：銀座メゾンエルメス 8F フォーラム

オフキャンパス企画 「工芸とアートの〈あいだ〉」

出展アーティストと、表現やものづくりを専門的に学ぶ学生が集い、いつも通う学校とは違う環境で対話をしながら学びを深めるワークショップ。

【参加方法】こちらの応募フォームよりお申込みください。
募集締切：5 月 12 日（月） 10:00
当選者の方にのみ、5 月 16 日（金）までにメールでご連絡いたします。

本展の出展アーティストのひとりで、ドイツから来日するヨハネス・ナーゲルを講師に迎え、独自の制作スタイルをどのように発展させてきたか、レクチャーとデモンストレーションを交えてお話頂きます。また、同じく本展の参加アーティストである川端健太郎もオブザーバーとして参加予定です。磁器を主なメディウムとして制作を行う 2 人のアーティストの制作姿勢や制作背景を伺いながら、参加者のみなさんと共に、工芸と現代アートの〈あいだ〉について考えていきましょう。

- 日時：5 月 31 日（土） 13:00 ～ 16:30
- 講師：ヨハネス・ナーゲル、川端健太郎 ※通訳付き
- 参加者：公募の学生 15 名程度（要事前予約、抽選）
- 対象：主に表現やものづくりを専門的に学ぶ学生（学部 3 年以上～大学院生相当）
- （注）当日学生証をご提示いただきます。
- （注）その他の専攻の方（文理芸術系問わない）もご興味をお持ちいただける場合は応募可能です。
- 参加費：無料
- 集合場所：銀座メゾンエルメス 8F フォーラム